

特集

しらべて つながる これからの学び…2~3P

キラキラ新潟っ子

学・社・民の融合による学校づくり 新潟市立松野尾小学校(西蒲区)



歌声のひろば

松野尾小学校の総合的な学習の時間では、「わたしたちの松野尾」という全校共通テーマの下、地域の自然(上堰瀧)、福祉、農業、歴史等を学んでいます。どの単元においても、地域に出かけて専門家からお話を聞いたり、地域講師を招いて出前授業をしていただいたりしています。今年、4年生が福祉の学習で地域の「歌声ひろば」(コミセンの事業)に出かけてかわりながら学びました。

これらの活動の内容や成果は、学級だよりでの紹介を始め、活動レポートによる校内展示、講師や施設への礼状という形になって表れています。また、特にここ数年は、文化祭当日に学習発表会を行い、保護者や地域住民に発表しています。

参観してもらった大勢の人たちから、「地域での学びの様子がよく分かる。」「子どもたちの表現力が身に付いてきている。」「これからもできる限り学校の教育活動に協力していきたい。」という声が挙がっています。

身近な自然を生かした元気な野菜作り 新潟市立新津第三幼稚園(秋葉区)



土作りの様子

新津第三幼稚園では、土にもこだわった野菜作りに取り組んでいます。昨年度は冬野菜、今年度は夏野菜に挑戦しました。

年長児が中心となり、家庭から野菜くずを持ち寄って、細かく砕くところから始まります。その後、ポカシ肥料を入れ何日か寝かせると、ほわほわした土に変身します。「触ると何だか温かいよ。」「パンのような、いい匂いがする。」など、様々な感覚をフルに回転させた反応が、あちらこちらで生まれました。

元気な土ができあがったら、育てたい野菜の苗を近くのお店で購入しました。収穫したのは、ナス、パプリカ、ミニトマト、ピーマンなどです。これらを使って、

園児全員でカレーパーティーを行いました。保護者の協力もいただきながら、グループごとに具材の違うカレーを作りました。食べ比べると「どれも、おいしいね!」という園児の声で包まれました。

身近な自然を有効に活用し、その力を生かした野菜作りは、園児の心を動かす教育活動になっています。

キラキラ新潟っ子応援団

新潟市生涯学習センター(クロスパルにいがた) ボランティアグループ「あそぶんジャー」



「あそぶんジャー」はあそびを通して、世代間交流を図り、子どもの体験をサポートするボランティアグループです。夏休みはものづくりや朗読劇などが体験できる「あそびの市場」、春休みは調理実習を行う「親子クッキング」など、親子で一緒に、楽しくクロスパルにいがたで過ごしてもらえるイベントを企画運営したり、クロスパルにいがたでの文化祭、小学校の昔あそびなどにも参加したりしています。

「昔あそびの楽しさを今の子どもたちに伝えたい。」「ゲームもパソコンも面白い。でも体を使っての経験はもっと楽しいんだよ!子ども達と一緒に遊びながら教えたい。」という思いを大切に活動を行っています。